



SAKAMOTO

医療法人社団聖心会

阪本病院だより

No.5

2006年 5月1日発行

病院機能評価認定を受けました。



平成18年3月20日付けで、医療法人社団聖心会阪本病院は、財団法人日本医療機能評価機構の定める基準に達していることが認められ、病院機能評価認定病院（VER4.0）となりました。

当院では、平成11年6月に病院になって以降、地域に役立つ病院としての基盤整備に取り組んできました。病院として開院から5年目を迎えた平成15年に、これまでの取り組み状況や今後病院が進むべき方向を第三者の公平かつ学術的な視点から評価するために、病院機能評価を受審することとしました。



平成15年度から院内にワーキンググループを結成し、評価機構の掲げる評価項目532項目（小項目）に沿って内容を確認し、平成16年度には、病院幹部で構成する受審のための準備委員会を設置し、院長の強力なリーダーシップの下、病院全体が一丸となり準備を進め、平成16年12月の訪問審査に挑みました。その後、改善指摘事項を院内で検討して改善し、平成18年3月20日に認定されました。

今後は、今回明らかにされた評価結果に基づき、優れている点は維持し、弱点は改善に努め、さらなる病院機能の向上を目指します。

更に、4月より理学療法士4名を増員し、計17名となり、作業療法士3名、言語聴覚士1名と合わせ県下有数のリハビリテーション科となりました。

また、脳神経外科の非常勤医師を1名増員し、計2名体制となり、脳血管疾患への対応を充実させました。

整形外科・脳神経外科・リハビリテーション科を中心に外科系では、地域の中心的な役割を担っていきたいと思います。

来年3月には、大川地区の公的病院の統廃合が決まっています。職員一致協力して、地域医療の受け皿として、充分対応できる体制を今後も目指して参ります。皆様方の御指導・御鞭撻をお願いいたします。

●病院機能評価とは…

■病院機能評価

病院機能評価とは、厚生労働省や日本医師会、日本病院会などが基本財産を出資する財団法人日本医療機能評価機構が、第三者の客観的かつ学術的な視点から、病院の機能、安全管理体制、療養環境などを評価する制度です。

■第三者評価の必要性

医療の受け手である患者さんのニーズを踏まえつつ、質の高い医療を効率的に提供するためには、組織体としての医療機関の機能の一層の充実・向上が図られる必要があります。これまでも、病院は、自らを評価し改善に努めてきましたが、第三者評価を受けることにより、問題点や優れている点を客観的に把握できるため、改善目標が明確化し、質の高い医療を効果的に提供することへとつながり、また、公正で正確な病院情報を患者さんに提供できるという利点があります。

理 念

わたしたちは、患者様の立場に立った全人医療を行い、地域の皆様に愛され信頼される病院を目指します。

爽やかライフ —— 快適な排尿 ——



泌尿器科 顧問 竹中 生昌

快適な排尿による爽やかライフを（2006-4）尿失禁

最近どうもオシッコがしたくなると我慢できず、間に合わない、くしゃみするとつい漏れてしまう、夜中に何度もゆく、少ししか出ない、勢いが弱い、などこんな症状はありませんか。

排尿は人によって差がありますが、一日に10回前後です。これが毎回具合が悪いとなると大変です。楽しみにしていた町内のバス旅行、つい先ほどしたのにまたオシッコがしたくなった一漏れそうなのを一生懸命我慢してやっと休憩所、走ってトイレに行ったが、間に合わなくてつい漏れてしまった。パンツだけでなく、ズボンまで濡れてしまい、格好が悪いだけでなく、臭いといわれ、情けないやら、悲しいやら。もうこれからはバスには乗れない、旅行にも参加できない。人前にも出られず、落ち込んでしまった。尿の失敗は人に言えない悩みであり、また人に知られると最もプライドを傷つけられるものの一つで、人付き合いが悪くなり、日常生活に大いに支障をきたすことになりかねません。

正常な排尿：腎臓で作られた尿は、尿管を通過して膀胱に流れ込み、そこに一時的に溜ります。膀胱がいっぱいになると、その情報は膀胱の神経から脊髄を介して脳へ伝達され、オシッコがしたい（尿意）と感じますが、ある程度は我慢できます。さらに溜って、十分いっぱいになると、脳からオシッコを出しなさいとの命令がきて、膀胱の出口の筋肉（括約筋）をゆるめると同時に、膀胱の筋肉をぎゅっと収縮させて尿を押し出します。正常であれば、満杯になるまでちゃんとためて、そしていつでも出せるのです。



種類と原因：ところが膀胱炎をおこすと、膀胱内に十分に溜めることが出来ず、漏れてしまう、また糖尿病などでは神経の情報が十分伝達されず、勝手に排尿してしまうことがあります。さらに高齢になると、身体のおちこちが弱ってきます。オシッコに関しても、膀胱や尿道の筋肉が衰えるため、膀胱のふくらみは低下して尿はためづらく、また尿意を感じて、排尿をこらえる力も年齢とともに低下するため、漏れやすくなります。とくに男性では、前立腺の肥大を伴っているため、尿の多少にかかわらず、膀胱が突然収縮するため、強い尿意とともに脳のコントロールがきかず、我慢できずに漏れてしまいます。また女性では出産、骨盤内の手術などの原因で括約筋が弱くなるため、せきやくしゃみをした時、力んだり重い物を持ち上げた時、急に腹圧が高まるために少量の尿が漏れてしまいます。さらに、脳卒中後の運動麻痺、重度の関節炎などで身体が動かない状態、さらには認知症のためトイレの場所が分からない、あるいは用具を上手く使えないなどのために、結果としての失禁もみられます。

診断と治療：このように尿漏れ（失禁）となる原因には多くの疾患があります。また漏れ方にもいくつものタイプがあり、合併して見られることもしばしばです。したがって、治療に当たってまず正確な診断が必要です。それによって、大半の人は治療によって完治するか、症状を大幅に軽減することができます。尿漏れは歳だからといって諦めないで、一度ご相談ください。

新しく職員としてお迎え致しましたスタッフのご紹介を致します。



理学療法士
泰地 章公



理学療法士
軒原 侑子



理学療法士
土内 雅生



理学療法士
奥田 隆司

各科医師名及び診察日一覧

2006年4月1日現在

診療科目	診療医師
整形外科	院長 阪本 一樹 名誉院長 阪本 謙一 部長 栗生 雅人 徳島大学医学部 整形外科医局・医員
泌尿器科	顧問 竹中 生昌
外科・内科・消化器科	副院長 吉田 勇人 医師 福島 慎也
脳神経外科	副院長 小川 智也 医師 神内 隆宏
形成外科	医師 山野 雅弘 医師 松尾 伸二
放射線科	医師 原田 雅史

科目 \ 曜日	月	火	水	木	金	土
整形外科	○	○	○	○	○	○
内科	○	○	○	○	○	○
外科	○	○	○	○	○	○
脳神経外科	○	○	○	○	○	○
泌尿器科	○		○		○	
形成外科	○		○ (午後4時迄)			○ (午前)
リハビリテーション科	○	○	○	○	○	○

※日・祝祭日は休診となっておりますが、急患の場合はこの限りではありません。